
	<p>横浜市立大曾根小学校</p> <h1>学校だより</h1> 	<p>平成30年9月28日</p> <p>TEL 542-1785 FAX 541-0949</p>
---	---	--

## 出会いと体験の機会からの学び

学校長 三橋 淳子

朝夕の風が、すっかり秋らしくなって参りました。増改築の工事のうち、少し遅れておりました第一校舎のトイレの工事につきましては、10月5日から使用できるようになるとのことです。子ども達や来校された皆様には大変ご不便をおかけしました。

昨年度まで本校のたてわり活動の中心となる行事として進めて参りました臨港パーク全校遠足でしたが、大地震～津波発生時に想定される避難の困難さから、一昨年来、職員総出で代替地を探してまいりました。残念ながら適当な場所が見つからず、では学校の中を1日中活動の場にしてみよう、ということで9月19日「なかよしデー」の実施となりました。事前の計画・準備から当日まで、たてわり班ごとに5、6年生が中心となって進め、当日は、子ども達の笑顔のあふれる1日となりました。

低学年の「楽しかった。」「あいさつをがんばった。」という声、高学年の「自分からリードするのが苦手だったけど、少し得意になった。」「〇〇さんは下級生のことを考えて行動できていてすごい。」「1～5年生が6年の手伝いや案内を進んでやってくれて『協力して楽しく過ごす』が達成できた。」等々の声。「もっとできたことがあったのでは。」「来年は6年生としてみんなを引っ張りたい。」と5年生の次を見通した思い。学校として初めての取組で、内容や時間設定等反省点もたくさんありますが、子ども達の笑顔と成長の見られる時間となりました。

また、4年生以上の保護者の皆様には先日のお便りでお伝えいたしましたが、大曾根小学校では今年度、多様性を認める態度の育成をねらいとして、オリンピック・パラリンピック教育推進校（オリパラ推進校）として教育委員会より委嘱を受けています。校内では、人権週間を中心とする取り組みの計画を進めているところですが、9月22日から24日に横浜国際プールで行われた『ジャパンパラ水泳大会』（日本国内最高峰のパラスポーツ競技大会）の前日に英国のパラリンピック水泳代表選手と横浜市の小学生との交流会並びに見学会が計画されているが、大曾根小学校の子ども達が参加することは可能か、という打診が教育委員会からありました。

そこで、せっかくの機会ですので、横浜市の小学生の代表として、希望する大曾根小学校の子ども達に参加してもらいたいと考え、とても急なお話でしたが4～6年生の子ども達と保護者の方への声掛けをさせていただきました。その結果、9月21日の午後、86名の子ども達が横浜国際プールに出かけ、交流会と見学会に参加いたしました。

「水泳を始めたきっかけは」という子ども達からの質問に、「障害があっても、そうでない人と同じように泳げることを知って欲しい」と答えて下さった選手の方の言葉は、参加した子ども達にしっかりと伝わっていました。「泳げるようになるためにたくさん努力しているんだな。努力をすれば何でもできるんだということを感じた。」と見学会を終えての感想を記したお子さんがいます。

「ハンディーキャップがありながらもたくさん努力をして出場していることを知って、すごいなと思った。」「自分も前向きに自分の道を進みたいと思った。」「からかわれそうで自分なら隠すのに…。」「ハンディーキャップがあってもなくても、みんな同じ仲間だと思った。」「自分のやり方で一生懸命やっている姿がかっこよかった。」「わたしは『どうせ』が多いので、あきらめずにがんばろうと思った。」全てをご紹介することはできませんが、子ども達の素直な感性を、嬉しく思います。

雨天の中、限られた時間の中での交流会・見学会となりましたが、観客席から練習を見学している子ども達がプールサイドの選手たちに手を振り、選手やスタッフの皆さんが手を振り返してくださる様子を見ながら、この企画を実現できてよかったと思いました。学校からは5名の職員で引率いたしました。行きは5名、帰りも2名の保護者の方に引率のお手伝いをいただきました。ご協力いただきまして、ありがとうございました。

今年度の大曾根小学校の教育活動も中盤に差し掛かっています。現在は10月20日の運動会に向けて各学年ごとに練習、準備を進めていますが、それ以外にも学年ごとに様々な取組が予定されています。教職員一同、今後も教育活動に真摯に取り組んでまいります。ご理解とご支援のほど、よろしくお願いいたします。